

# 2 学年通信

新宮町立新宮東中学校  
令和7年5月12日 第19号  
文責:江頭 俊輔

## 〔嵐活動休止発表!〕

ゴールデンウィークの中でも一番の思い出は何?と聞かれると、私は即座に「嵐の活動休止報道です!」と言うことができるほど、大人気グループ「嵐」の解散は衝撃的でした。みなさんの中の多くの人も嵐の曲は一度は聞いたことがあるはずです。(ちなみに私は、ちょうど今のみなさんと同じくらいの年齢のときに、花より男子という大人気ドラマがあり、毎回見逃さないように全神経を注いでいたほど、「嵐」が生活の一部でした。) そんな嵐世代の江頭から、おすすめの曲とその歌詞を是非、みなさんと共有したいと思っていますので、今回は「嵐」に感謝カンゲキ雨嵐な学年通信としたいと思います。

Smile again ありがとう

Smile again 泣きながら

生まれてきた僕たちは

たぶんピンチに強い

感謝カンゲキ雨嵐/嵐

さて、一曲めはいつも力をもらえる「感謝カンゲキ雨嵐」です。嵐の代表曲と呼んでもいい、名曲です。その中でも「泣きながら生まれてきた僕たちはたぶんピンチに強い」という歌詞は説得力があります。実際、人は命がけて生まれてきます。人生で出会う中でも最も困難なことの1つが「生まれてくること」です。一番の困難を乗り越えてきたから、「たぶん」ピンチに強いんです! そう自分自身に言い聞かせましょう!

さて、二曲めは大人気ドラマ「花より男子」の主題曲だった「Love so sweet」です。おそらく私と同じ世代の人はみんなこの曲を歌えるのではないかと、というほど当時は流行しました。サビの最後の「こんな好きな人に出会う季節 二度と無い」の部分は、とても感慨深いです。日本では昔から「一期一会」といい、出会いと別れを大切にしてきましたが、それをより明確にする気概のこもった歌詞です。

思い出 ずっとずっと忘れない空  
二人が離れていっても

こんな好きな人に出会う季節

二度と無い

Love so sweet/嵐

悲しいページなんてなかったことにしようとして  
ぼくらはいくつも色をかさねてしまった

きっと塗りすぎた色って白に戻れないけど

それでいい新しい色で明日を描こう

アオゾラペダル/嵐

三曲めは「アオゾラペダル」です。少しマイナーな感じもありますが、内容がとても深いのが魅力的です。「きっと塗りすぎた色って白に戻れないけど」という歌詞からは、大人になっていくみなさんもいつかそう感じる日が来て、共感できると思います。でもそれでいいんです。明日を頑張りましょう!

四曲めは「Oh Yeah!」です。この曲はライブでとても盛り上がる曲です。「もう一度あの日に戻るとしても同じ路(みち)選ぶだろう」という歌詞からはやり直しのきかない今という日々の「後悔したくない!」という想いと覚悟が伝わってきます。

両手高く挙げてこの地球をささえて歌った僕ら

天に届け 舞い上がれ Oh Yeah!

もう一度あの日に戻るとしても同じ路(みち)選ぶだろう

一つになれ 舞い上がれ Oh Yeah!

Oh Yeah!/嵐

本気で泣いて 本気で笑って

本気で悩んで 本気で生きて

今がある 胸を張れる

5×10/嵐

最後の曲は「5×10 (ファイブバイテン)」です。これは2009年に嵐がファンへの感謝の気持ちを込めて作った曲です。嵐がここまで、「本気で」いろいろな活動に取り組んできたことが伝わってくる歌詞です。本気で生きてきたからこそ、今がある、そして胸を張れるという歌詞から、「私も本気で生きていきたい!」と共感する気持ちが芽生えます。

知っている曲も知らない曲もあったでしょうが、少しでも江頭の青春を感じることができれば幸いです。